

宮崎虎之助 みやざき とけいすけ 宗教家。明治五年福岡縣柳河生れ、昭和四年四月
歿（八七二―一九元）。二十歳頃縣下八女郡日向神山に入り瞑想。明治
二十六年豫言者と稱して新宗教を宣傳。妻は宮崎光子。

著書に『我が新福音』（明治二十七年五月五日前川文樂齋）、『幽裏
明』（明治二十八年一月二十七日青英舎）、『基督觀』（明治四十年
三月二十日博文館）、『眞心生きるには』（大正六年十月二十日河蕪
陀書房）、『神生紀元』へ再版。大正十五年十一月十五日兵庫・神生
教壇神戸支部）、『神を成就するもの』（再版―当用漢字新かなづか
ひ改訂・昭和二十四年五月五日平凡社）等。

